

平成20年度 短答式試験を振り返って

ここでは私のような「受験対策のプロフェッショナルではない者」の目に、今年の試験がどう映ったか、という視点から記述を進めたいと思います。

最初に指摘すべきは、受験雑誌でもよく言われていることですが、「公認会計士としての業務に必要な基礎知識を幅広く有しているかどうかを測る」という、短答式試験の趣旨が色濃く反映された出題内容となっていることです。いくつかの例外はみられるものの、「重箱の隅を突くように」マニアックな知識を求める問題は少なかったように思います。今回、私にとって専門外である会社法、監査論、管理会計論などの問題を解いてみましたが、「受験生であったおよそ20年前！に培った知識ではまったく歯が立たない問題」というのはほとんどありませんでした。これは長期にわたって共有されてきた、最も基礎的な知識を求める問題が中心であったことの証拠といえるでしょう。

以上の特徴を「今後の受験戦略」に活かすとすれば、「基本書の重視」ということになるでしょう。枝葉末節の知識を大胆に切り捨て、基本論点を重点的に解説している良質な基本書と、できるだけ早いタイミングで出会うことができるように願っています。そのような基本書は多くの場合、薄く短めですが、たとえボリュームのあるテキストであっても、要点と枝葉とを明確に区分しているものであれば基本知識の修得に役立つことでしょう。

身の回りの受験仲間が自分の知らないことを知っていることと不安を覚えることでしょう。しかしどのような知識も出題されなければ活きません。今年度の問題は、「幅広く応用の利かない知識」を持つのではなく、「どのように尋ねられても対応可能な知識」の修得に努めるべし、というメッセージを私どもに送っているように思えます。

ここまででは「基本論点の重視」という点を強調してきましたが、基本知識を縦横に操れるようになったとしても対応できない「悩ましい問題」が含まれていたのもまた事実です。とりわけ悩ましいのは、基準や適用指針には明記されていない「正解」を、前後の文脈などから推察させるタイプの問題が含まれていた点です。資格試験の場合は、「点差をつける」のは必須の要請ですから、このような問題が含まれているのはやむを得ません。このタイプの問題については、受験テクニックを以って臨むしかないでしょう。

私自身がもう一度受験生に戻らされたならば、このタイプの問題は後回しにして、確実に加点できる基本論点関連の問題を解き終わった後に取り組みます。このタイプの問題は、正解と不正解との境界が一般に曖昧ですから、「正解っぽい選択肢」が複数残ってしまいます（財務会計論の問題11など）。最後は「どれだけ悪意的に解釈しても正解としか読み取れないのはどれか」という基準にてらしてひとつの選択肢を大胆に選び、その問題のことは忘れてしまいます。試験場では、「7割正解しなければならない」を「3割は間違っても良い」と解釈し直す気持ちの切り替えと、「確実に加点できる問題」を7割分選び出す冷静な計算が求められることでしょう。



以上、個人的な趣味に走った感想で恐縮ですが、少しでもお役に立てれば幸いです。

米山 正樹 会計研究科教授

学生・教職員 懇親会

2008.7.16 国際会議場 第一会議室にて



懇親会アンケート
回答びっくあっぷ
～その1～

安松さんと村田くん

懇親会を終えて

会計研究科1年 村田佑貴
(筆者：中央写真、右側)

春学期の授業もほとんど終わりを迎え、定期試験が始まるまであと1週間程という絶妙なタイミングで会計研懇親会が開かれました。会場は入学式後の懇親会と同じ国際会議場。入学式から今回の懇親会まで、振り返ればあっという間だったように思います。入学式のときはうまくやっていけるかなと少し心配もしましたが、今となっては杞憂でした。

懇親会は、同期や先輩方と、そして多数ご出席いただいた先生方や事務所の方と、軽食を頂きながらあちらこちらで談笑がなされ、私も含め、皆さんとても楽しいひと時を過ごせていたようです。普段もフレンドリーで、魅力的な同期や先輩、先生方、事務所の方々ですが、このような「懇親会」という皆さんが集まって交流する場を設けていただけなのは非常に有意義です。まさに「アットホーム」な会計研ならではのようです。ちなみに、今回はテスト前ということで、その情報交換や、秋学期の履修相談、進路相談などの場としても活かされていたようです。

会計研ではこのようなイベントを始め、研究科全体がよい雰囲気になるようにお気遣いいただいているようで、本当にありがたいです。おかげさまでとても居心地よく感じています。



Q1 会計研に入学して一番驚いたことは？

- ・教授との距離が近い！
- ・レベルが高い！
- ・出席が厳しい！
- ・女性が少ない・・・
- ・みんな仲がよい

Q2 会計研の魅力を一こと表すと？

教授・先生
仲間・仲良し
アットホーム
自由
イベントが多い
みんな優しい
人脈



【7月16日懇親会】

会計研究科1年 安松万梨子

最高気温31.5度の真夏日。

定期試験や会計士試験に向けて、勉強勉強の日々を送っている会計研の生徒にとって、嬉しいイベントが開催されました。

小林先生の和やかなスピーチに始まった懇親会には、目移りするようなパン（関口フランスパン@目白since1888）が並べられ、おいしいパンを片手に会場のあちらこちらで会話が花が咲いていました。定期試験や授業の質問攻めにあう先生や、白熱した会計談義を繰り広げる生徒など、懇親会は大盛り上がりで、二時間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。三ヶ月前の入学式のぎこちない懇親会とは違い、和気藹々とした雰囲気、楽しい時間を過ごすことができました。

あっという間だった春学期を振り返ると、慣れない会計や早稲田の生活に苦しみながらも、いい仲間やいい先生との素敵な出会いに支えられた三ヶ月だったと思います。

夏休みまで試験等で気の抜けない日々が続きますが、この懇親会でのリフレッシュを通して、また新たな気持ちでがんばりたいと思います。

関口フランスパンについて

今回軽食として用意したのは、関口フランスパンのパンでした。江戸川橋駅近くに3店舗を構える関口フランスパンは、明治21年、小石川関口教会（現カトリック関口教会）製パン部として創業しました。教会が経営する孤児院の子供たちに、文化的な職業を身につけさせることを目的とした神父のアイデアがはじまりで、大正時代に教会から独立。本格的フランスパンを製造したのは日本で初めてといわれています。明治・大正時代の江戸っ子にフランスパンの名家として評判を呼び、以来、各国の大使館関係者や在留外国人から一般家庭まで地元の人々に広く愛されています。

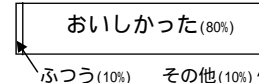


懇親会アンケート
回答びっくあっぷ
～その2～

Q3 今後企画してほしいイベントは？

スポーツ大会・運動会
バーベキュー
飲み会

Q4 本日のパンの感想は？



Q5 次回、懇親会の軽食のリクエストをどうぞ

天むす、おにぎり、米
弁当
ドーナツ
ピザ
サブウェイ、サンドイッチ
ビュッフェ、ケータリング



ベリングポイント寄附講座

会計コンサルタント実務

早稲田大学大学院会計研究科に、コンサルティング実務をテーマとする「会計コンサルタント実務」を設置。当講座では、コンサルティング・スキルを備えた会計人育成支援を目的とし、実際のコンサルティング・プロジェクトを題材に、現場で求められるスキル（会計スキル、プロジェクトマネジメント、プロジェクトの実際）および論理的思考方法の習得を目指します。



アビームコンサルティング寄附講座

ERP財務会計実務・ERP管理会計実務

早稲田大学大学院会計研究科にERPシステムと会計実務をテーマとする「ERP財務会計実務」および「ERP管理会計実務」を設置。実践的な講義とするため、SAPジャパンの協力のもと、講師に自社内の財務会計・管理会計プロジェクトに携わる公認会計士やSAPジャパンのERPシステムによる会計実務経験が豊富なコンサルタントを起用。SAP ERPシステムの財務会計コンポーネントおよび管理会計コンポーネントの基本的な機能に関する知識と操作方法の習得に加え、ERPシステムを用いた会計実務の実際と、ERPシステムを用いている企業の監査上のポイント等の実務知識の獲得を目指します。

事務所からのお知らせ

夏季休業期間中〔8月1日(金)～9月20日(土)〕の事務取扱時間

月曜～金曜 9:00～17:00（閉室 12:30～13:30）

土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)は終日閉室となります。

8月9日(土)～8月17日(日)は夏季一斉休業期間のため、事務所は閉室いたします。

夏季休業期間中〔8月1日(金)～9月20日(土)〕の自習室利用について

【9号館】月曜～金曜 8:30～19:00

19時半にはオートロックがかかるため、学生は、19:00までに9号館より退出してください。

土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)は終日閉室となります。

8月9日(土)～8月17日(日)は夏季一斉休業期間のため、終日閉室となります。

【19号館】月曜～金曜 8:20～21:00

夏季休業期間中〔8月1日(金)～9月20日(土)〕の土日・祝日の自習室利用申請

利用日の2日前の16時まで(2日前が休業の場合は、その1日前) **締切厳守**

夏季一斉休業期間中〔8月9日(土)～8月17日(日)〕の自習室利用申請

8月7日(木)の16時まで **締切厳守**



詳細は、必ず掲示等をご確認ください。